

京都府歯科医師会



よ坊さんだより

▼34▲

歯周病は、かなり悪くなるまで痛みや腫れなどの症状を伴わないのが特徴です。よって静かに進む歯周病に対して曰ごろから気を

す。
次のような自覚症状は歯周病のサインとなりますのでセルフチェックしてみましょう。

①歯磨きで出血して歯ぐきが腫れている感じがする。

②口臭が気になる。

③口の中がネバネバして妙

日ごろのセルフチェック

な味がする。

④歯が浮いた感じがある。

⑤指でさわってみて、グラ

グラする歯がある。

いかがでしたか？ もし、ひとつでも当てはまる

項目がある場合、歯周病の疑いがあります。

まず歯周病は歯の周囲の汚れ（プラーク）に含まれる細菌の毒素により歯ぐきに炎症が起きます。その時、腫れたり出血しやすくなります。進行していくと、歯と歯肉の間に深い溝、歯周ポケットができます。炎症

える骨が溶けていきます。その過程で妙な味の膿がでたり、歯が浮いてかみにくいなどの自覚症状がでてきます（症状③④）。そして重度歯周病になると歯が抜ける方向へ動いて痛みもでてきます（症状⑤）。

歯を失う原因は30歳以上ではむし歯より歯周病の方が多くなります。もし不調のサインを感じたら、放置せずに歯科医院への受診をおすすめいたします。

（京都府歯科医師会広報室 員 小島淳一）

*「よ坊さん」は日本歯科医師会のイメージキャラクターです。

歯周病(12)